

先輩職員から版

其の四

千葉市
人事委員会
事務局 発行

■ 本日の先輩 ■

都市局公園緑地部緑政課 緑と花の推進室 技師
大重 喬嗣 (オオシゲ タカツグ)

採用年度：平成28年度 職種：造園

現所属での勤務年数：

9か月 (R2.1現在)

過去の所属(主な職務内容)：

都市局 公園緑地部 緑公園緑地事務所
(緑区内の公園緑地の維持管理業務を担当)



千葉市の豊かな緑を
次世代に引き継ぎたい！

Q1. 千葉市職員を技術職として志望した理由、きっかけは何ですか？

緑が大好きだったことをきっかけとして、地元千葉市で多くの方々に緑の良さを知ってもらいたいと思いました。また、今以上に豊かな緑を次世代の人たちに引き継ぎたいと思い、緑化推進や緑地保全等の業務に携われる造園職を志望しました。

Q2. 千葉市を受験する際の対策や、役に立ったことなどを教えてください。

筆記試験に向け、市販の問題集や造園施工管理技士の試験用の問題集を繰り返し解き、対策をしました。面接試験は、日常のコミュニケーションの中で、落ち着いてゆっくり話すことを意識したことが役に立ったと思います。

Q3. 現在の部署について教えてください。

【業務内容】

緑政課 緑と花の推進室では、緑地協定、緑化協定、宅地開発に伴う緑化指導によって民有地の緑化を進めるとともに、市民、団体、企業など様々な皆さんとの協働による花のあふれるまちづくりなど、様々な取り組みを進めています。また、市の花「オオガハス」のPRのため、市民団体等の共催により、開花時期にあわせて毎年6月に「大賀ハスマツリ」や「YohaS(夜ハス)」を開催しています。都市アイデンティティの一つである「オオガハス」の普及業務は市のイメージにも関わる大きな仕事であり、プライドを持って仕事をしています。

【やりがい、難しさ】

千葉市の良好な都市環境の形成を図るため、民有地の緑化協議においては、様々な制度によって細かく基準が定められており、企業や市民に正確に間違いなく指導することの難しさを痛感しております。業務の難しさを感じる反面、指導した内容が現場に反映されているのを目の当たりにすると、千葉市の緑化の推進に貢献していることを強く実感でき、とてもやりがいがあります。

【雰囲気】

職員同士の連帯感が強く、業務で不在者がいる際は、チームでサポートしあうような職場です。イベント業務の際は、他部署からも応援が駆け付けるなどワンチームで取り組んでいます。また、先輩や上司は優しく、業務で行き詰った際は、相談がしやすいため、自分の意見や考えを伝えやすく、業務を円滑に進めることができます。



職場メンバーとちはなちゃん

Q4. 入庁前のイメージと比較して、実際に職員として働いてみた感想を教えてください。

入庁前は行政だけで緑地を管理しているイメージでしたが、実際に働いてみると、市民や市民団体の協力が多くあることに驚きました。特に、千葉市と樹林の所有者、市民団体の三者が連携・協力し樹林地を管理運営する市民緑地の制度により、荒れた樹林地が地域の憩いの場として活用されている姿を見たときは、市民の力に感銘を受けました。



大重先輩の社会人としての心構え！
「初めて経験する業務こそ、勉強できる機会が多く、やり遂げた際に成長できる！だからこそ積極的に挑戦！」

民有地の緑化検査中

Q5. 後輩たちにアドバイスやエールをお願いします。

千葉市には、多くの緑が残されており、さらに良くして次代の人たちに引き継いでいくためには、皆さんの力が必要です。未来の千葉市を作っていくために、ぜひ一緒に働きましょう。